

2012年3月期 連結業績概要
2013年3月期 連結業績見通しについて

TDK株式会社
代表取締役社長
上釜 健宏

2012年3月期 連結業績概要



(億円)	2011年3月期 通期実績	2012年3月期 通期実績	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	8,719	8,145	△ 574	△ 6.6
営業利益	643	187	△ 456	△ 70.9
営業利益率	7.4%	2.3%	△5.1pt	-
継続事業税引前利益	606	122	△ 484	△ 79.8
当期純利益	453	△ 25	△ 477	-
1株当たり利益(円)	350円90銭	△19円6銭		-
為替	対ドルレート	85円73銭	79円7銭	7.8%の円高
	対ユーロレート	113円12銭	109円6銭	3.6%の円高

※非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値

※連結業績に影響を与えた主な一時的要因についてはP27を参照下さい

◆連結売上高は前期比6.6%減、営業利益は70.9%減

- 東日本大震災、タイ洪水によるエレクトロニクス市場の減速
- 1ドル80円を超える円高が継続
- フラットTVなど主に情報家電分野の販売が低調に推移
- 一部大手顧客の生産調整による影響

◆収益力改善にむけた構造改革に着手

- 拠点、人員最適化、不採算事業への対応
- 構造改革費用として2012年3月期及び2013年3月期合計で180億円を計上予定
- 改善効果金額は同じく2期合計で334億円（予定）

◆期末配当金見込みは40円

- 上期配当実績40円と合わせて年間配当金見込みは前期と同額の80円

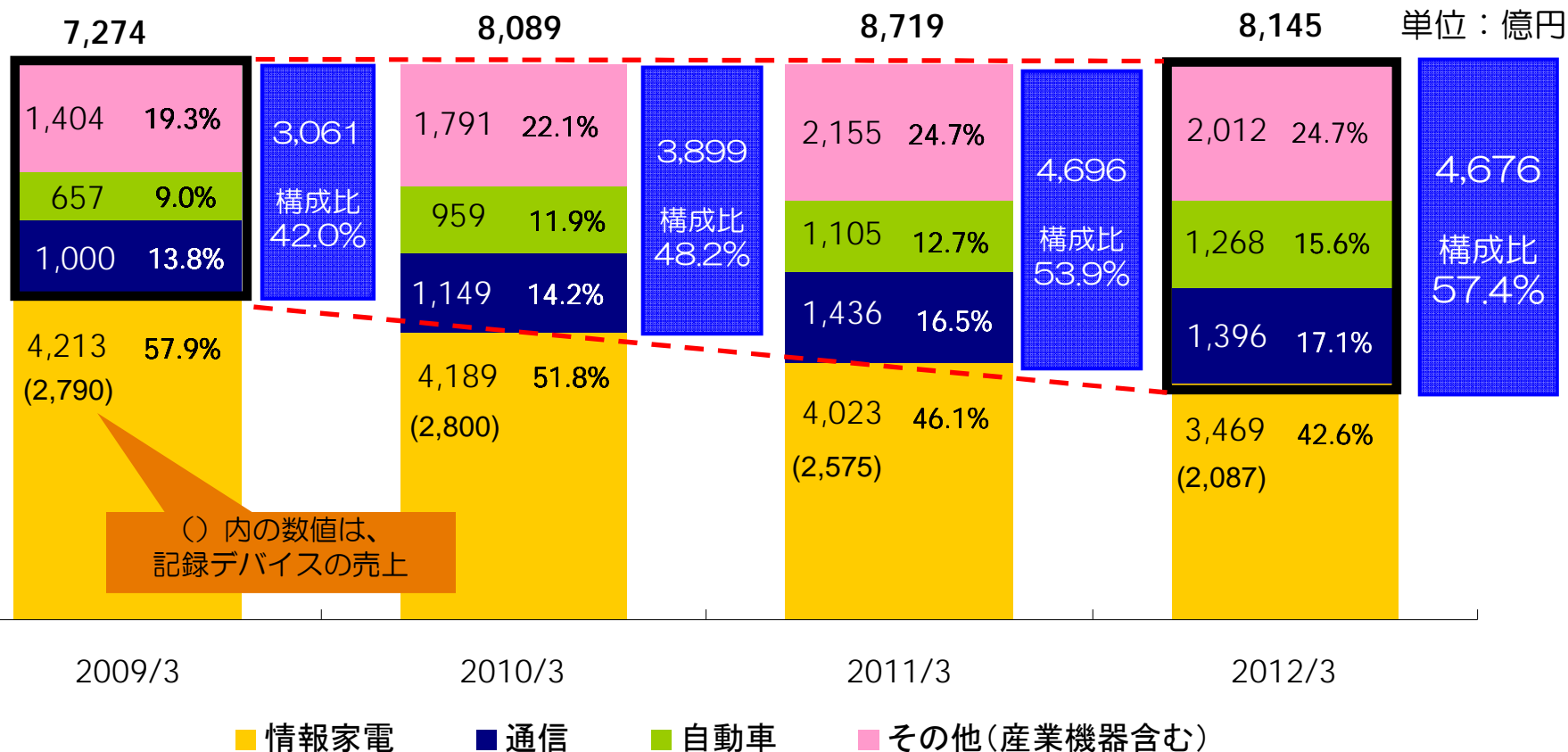
※連結業績に影響を与えた主な一時的要因についてはP27を参照下さい

※構造改革費用と効果についてはP21を参照下さい

通期決算のポイント -分野別売上高推移-

通信・自動車・その他（産業機器など）の3分野の売上高比率が57.4%へ上昇
 自動車向け売上高比率が販売の増加を伴って15.6%へ上昇

情報家電分野の売上高比率は、主にフラットTV向け受動部品の販売減少及び
 タイ洪水による記録デバイスの販売減少により42.6%へ低下



※2009年3月期の下期よりエプコス連結

※ 2009/3~2010/3までは非継続事業（ディスプレイ事業）を含む実績値、 2011/3以降は非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値

2013年3月期 連結業績予想及び配当金見通しについて



(億円)	2012年3月期 通期実績	2013年3月期 通期予想	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	8,145	9,000	855	10.5
営業利益	187	570	383	204.8
営業利益率	2.3%	6.3%	4pt	-
継続事業税引前利益	122	530	408	334.4
当期純利益	△ 25	400	425	-
1株当たり利益(円)	△19円6銭	317円75銭	-	-
配当金(円)	上期：40円(実績) 下期：40円(見通し) 年間：80円(見通し)	上期：40円(見通し) 下期：50円(見通し) 年間：90円(見通し)	-	-
為替	対ドルレート	79円7銭	77円	-
	対ユーロレート	109円6銭	103円	-

※非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値及び予想値

◆ 構造改革の完遂による収益力強化

- 拠点・人材・人員の最適化
- コスト削減
- 不採算事業・製品対応強化

◆ 成長戦略の推進による持続的成長

- 最重点市場への取組みを強力に推進
 - 次世代通信市場
 - エネルギー関連市場

市場

セットへの要求

部品への要求

成長戦略テーマ

次世代情報通信



ワイヤレス
マルチバンド
多機能
薄型・軽量
低消費電力
大容量データ

小型・低背
多機能・高機能
高効率
高速応答・高周波
モジュール
高密度記録

素材・プロセス技術を活用した
極小・高機能受動部品の提供

磁性・ヘッドプロセスを活用した
薄膜部品の提供

LTCC・SESUBなど
パッケージ技術を活用した
モジュールソリューションの提供

デジタルデータの増加に対応する
高記録密度HDDヘッドの提供

発電・蓄電・変換機器でキーとなる
パワーエレクトロニクスデバイス
の提供

エネルギー関連



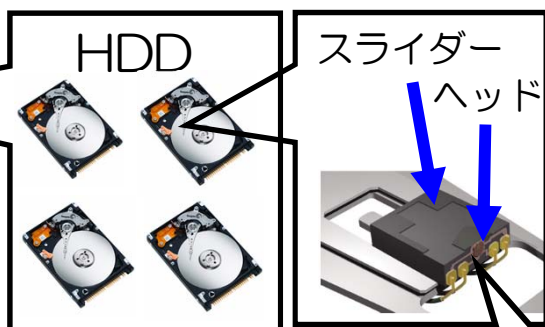
高発電効率
低消費電力
低燃費
分散電源
脱化石燃料
(HEV/EV/FCEV)

大容量バッテリー
高効率電源
磁石の高エネルギー化
キャパシタの高容量化
希土類レス・フリー

- 人類が生み出すデジタルデータ量は増加の一途
- クラウド化によるデジタルデータの**超集中【データセンター増設】**と**超分散【スマートフォン、タブレットPCなどのクラウド端末普及】**が加速

データセンター

データセンターにおける主記録媒体はHDD

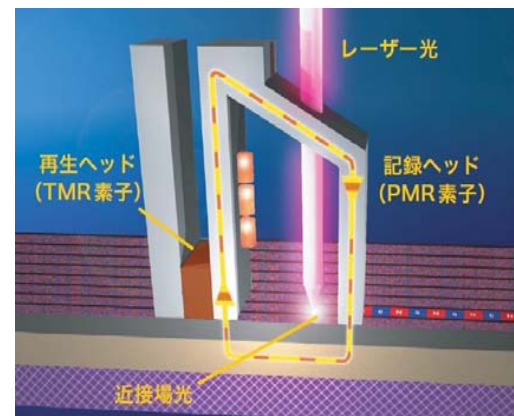


膨大なデジタルデータの保存とデータセンターにおける電力消費抑制のためには**HDDの記録容量増加と記録密度の上昇は必須課題**

- データセンターHDD用ヘッドの開発強化
- HDDヘッドの高記録密度化追求

次世代ヘッド：熱アシストヘッド

現在の先端ヘッド記録密度比100%増
1TB~/プラッター（2.5インチ）



スマートフォン



- **特徴ある製品の開発強化**
 - ・ 薄膜製品のラインナップ拡充
 - ・ IC内蔵基板（SESUB）など
- **勝ち組顧客への強力なアプローチ**

各国の燃費・安全対策規制の強化、ガソリン価格の高騰を背景にしたあらゆる自動車の電装化は着実に進展し、**HEV/PHEV/EV化も加速**

Present

ガソリンエンジンの電装化
低燃費・安全性向上・マルチメディア化

脱化石燃料 Future
HEV/EV/PHEV/FCEV

ECU用パワーインダクタ



ECU用セラミックコンデンサ



CAN-BUS用コモンモードフィルタ



フェライトマグネット

パワーウィンドウ・パワーステアリング
オイルポンプなど



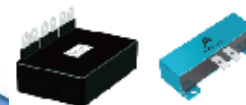
温度センサー



タイヤ空気圧モニタリング用
トランスポンダーコイル



DC-LINK用
フィルムコンデンサ



バッテリーチャージャー



電流センサー



メインモーター用
ネオジウムマグネット



DC-DCコンバーター



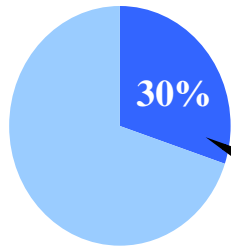
磁石元年

省レアアース・レアアースフリーへの取組み強化

再生可能エネルギーへのシフトとスマートグリッドの普及により
中長期的にはパワーエレクトロニクスデバイス需要が安定的に拡大

優良な顧客基盤と豊富な製品ラインナップで安定的にビジネスを拡大

■ 受動部品 ■ その他部品



再生可能エネルギーシステムに必要な
 不可欠な**パワーコンディショナー**を
 構成する部品の約**30%**は受動部品

(IHS/iSupply research Dec'11)

シナジー追求

受動部品業界随一のラインナップ

アルミ電解コンデンサ	トランス	ノイズ除去用コア
フィルムコンデンサ	EMCフィルター	電流センサー
中高圧セラミックコンデンサ	リアクタ	バリスタ/アレスタ

電池

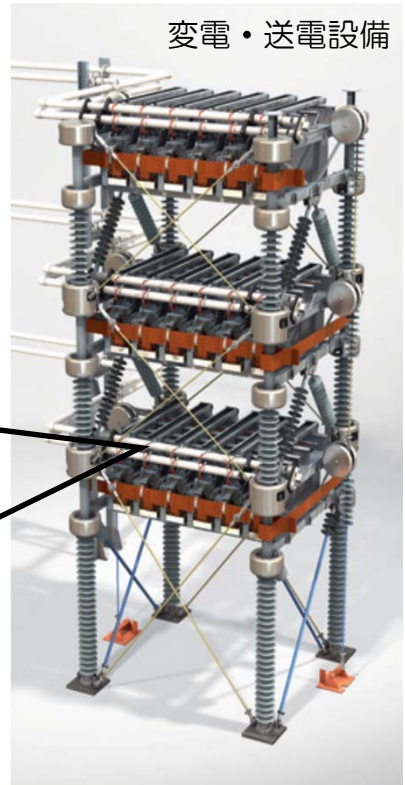
双方向DC-DCコンバータ

風力発電モーター用
ネオジウムマグネット

**高圧直流送電用
フィルムコンデンサ**

例)
Cap:6500μF
Vdc:2800

インバーターモジュール



高圧直流送電
 HVDC (High Voltage Direct Current transmission)
 交流送電よりも送電時の損失が低く、周波数変動の影響を受けずらい
 現在は欧州における大陸間等の長距離送電装置として敷設が増加中
 今後は中国など欧州以外の地域でも敷設の増加が見込まれる

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。

